

平成19年第3回定例会（9月）一般質問

（2）公式ホームページ（HP）の活用について

- 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。
- 議員 宮下 裕美子 第2点目は公式ホームページ（HP）の活用について質問したいと思いますが、6月の定例議会の際に町民向けホームページの改善ということで質問させていただきましたが、今回はホームページの対外的なPRあるいは産業・観光に結びつける、外から月形町を見た時のホームページの活用について質問したいと思います。

町外に対して月形町をPRする手段として各種のお祭りや行事それから物としては観光パンフレットなど色々あると思いますが、例えば観光パンフレットに関しては2年間で約1万部を配布して約50万円のお金を掛けて制作しているそうですが、実際にその配置場所は札幌市内の駅や大とおりそれから町内の施設であり、ある程度限定される場面が多く、そのパンフレットを見ても内容は非常に素晴らしく、それを読むことによって、月形町はこんな素敵なまちなんだと分かるような良い内容になっているのですが、いかにせん人の目に触れる機会が非常に少ないです。

それに対してホームページは私たちがそれを作ることによって不特定多数の方がそこから側からアクセスして下さって、全国あるいは世界中からそれを見にくることによってたくさんの方に情報を提供する手段になっています。それからホームページのアドレスに関しては、おはようトマトの製造の所や公共観光物の所、土地開発公社のパンフレットなど様々な所に明記されておりますし、検索エンジンを使うことによって何らかのかたちで月形町というキーワードを知った方や農産物を利用している方がそのままそこから入っていく、それから個人のブログやホームページを見た中から月形町をもっと知りたいとして入ってくるなど様々なかたちで皆さんに見られています。

町外の方からこのホームページを見た時に、月形町のページは非常に不具合が多く、その中でまず地図が不足しており、国道275号線と月形町を知っている方が見れば十分に分かる地図ですが、北海道のどの位置に月形町が位置しているのかという情報もありませんし、交通手段としても探して行かなければ分かりません。

それから自分が調べたいページがどこにあるのかということが非常に検索しづらい状態になっていて、最初の月形町を知る手がかりとしては不十分になっていると思います。

そんな中でも移住を推進するようなコーナーがあり、ここは私が見ても非常に分かり易いページになっていて、とても良い作りになっていると思います。このように良いページもありますが全体的としてはそれを見つけることが出来ないという現状があります。様々、色々とお話しましたが、このようにホームページは対外的なPRとして重要であると思いますが、現状がこのような段階で今後、町長はホームページの展開をどのようにして行かれるのか、お聞きいたします。

- 議長 吉田 義一 町長。
- 町長 櫻庭 誠二 町の公式ホームページ（HP）は、町民の暮らしに関する情報の発信を基本としつつ、月形町の概要や施設の紹介などを含めた全国に向けた月形町のPRや情報の受発信が可能でもあり、非常に便利で行政運営にも役立つものと認識しているところであります。

本年6月定例会においても宮下議員より、より一層のホームページの充実を図って広報体制を充実していただきたいというご意見をいただいたところですし、早速、内容更新についての作業を進めるように指導していたところでもあります。

今、ご指摘の中で言われましたホームページの見やすさ、情報取得のしやすさは大変大切なことであり、また情報内容の更新や適時行われていないと間違った情報を提供してしまうことにつながるので、その面は十分に留意しながら運営していかなければいけないと考えており、これらのことに関して本年6月定例会での宮下議員の一般質問では、情報を引き出そうとした場合に検索システムが不十分で、どこをどのように探せばその情報にたどり着くのか分かりづらい現状で、またホームページの内容更新もさることながらホームページのレイアウトが私たち町民にも見づらくなっているのではないかというご指摘いただいたところでありました。

過去においては担当者一人が今まで更新をやっていたところですが、それぞれホームページの内容を変えて各担当課がその時にすぐに直せるような現在のホームページの作りになっていますので、より一層職員にはその喚起をしながらこのホームページを活用していくことについては、指導していきたいと考えたところであります。

ただ1点、私としては大変うれしいニュースとしてお話したいと思いますが、私たちの月形消防支署で行われている救急救命講習について、これはうちのホームページがかなり脚光を浴びていて、全国からこの救急救命講習について受けたいということで月形支署として対応できますかという問い合わせが随分入ったということも聞いていますので、そういう意味では一部かなり有効に国民に対してPRしている部署もあるということをご理解いただきながら、それを含めて頼りない部分についてはそれぞれ皆さんのご

意見をいただきながら、改善するところは改善するというかたちでやっていきたいと思っております。

○ 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。

○ 議員 宮下 裕美子 今、答弁があったように消防のすばらしいページがあるということは、それらを参考にしながら他の部分でももっと取り組んでいけるという大事なページがあることはとても良いことであると思いますし、先ほどの移住のページも含めて良いところはどんどん伸ばしていただきたいと思います。

それで今、私の方から提案ですが、様々なホームページを見て観光客が町内に来られた場合でも、実際に町内では説明看板が少ない、どこに何があるか分からないということで、「温泉はどこにありますか。どこをどのように行けばいいですか。」と国道沿いに住んでいるので聞かれることがあります。そんなことから例えば詳しいマップを印刷して町内を観光できるようなページ、それを持ち出すことによって観光できるページ、お客様という感覚で全国の人を意識したページづくり、町内の商店や農産物・公共施設とタイアップした企画として、例えばこのページをプリントアウトして持って来ると何割引になりますとか、新しい観光資源のパッケージづくりとして、例えば月形駅を降りて樺戸博物館を見学して円山公園を散策する時に、ここには歴史上の物語がありますというのがホームページに載っていて、それらを一括してプリントアウトすることにより、ルートと時間をうまく配置して車で来てそこを廻って最後は温泉に入って車で帰るという新たな観光パッケージなども、町が色々な情報を持っていてちょっと工夫してそれを表示することによってより利便性が高くなり、またそれを参考にして訪れるお客様も多くなると思います。そのようにもう少しの工夫と発想でより有用なホームページに改善できると思いますので、先ほどの救急のこともそうですが、新しいパッケージづくりという観点からホームページを見直していただき、特に町外の方に発信するという観点を重視したつくりを重点的にやっていただきたいと思います。